

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	ファイバー工学分野の技術者・研究者育成を目指したJapan-China Textile & Composite Symposiumの参加と中国武漢紡織大学との交流	
学部・研究科名	繊維学部	
プログラム実施期間	2019年9月11日～9月15日	
研修先(国・都市・施設名)	中国・武漢市・武漢紡織大学	
	参加者学生数 11名	知の森からの支援者数 8名
プログラム概要	繊維と複合材料分野における日本と中国の大学院生の場を設け、学生達に国際的な感覚を身につけてもらい、将来、国際的に活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。研究発表ならびに討論会を中心に実施し、英語を使用し、グローバル社会に向けて、プレゼンテーションとコミュニケーション能力を向上させ、自身の研究や最近の研究動向に対する知識を深める。	

実施状況・成果

信州大学繊維学部と学術交流協定を提携した中国武漢紡織大学が、学術交流協定の一環とした合同開催するJapan-China Textile & Composite symposium2019が2019年9月12日(木)~13日(金)に、中国武漢紡織大学にて開催され、中国と日本から学生を含めて、50名を参加した。

学生が、口頭発表およびポスター発表が行われ、若手研究者同士の活発な意見交換を通して、ファイバーと複合材料工学分野における研究動向や展望を確認することができました。信州大学学生3人、優秀ポスター賞」と「優秀オーラル発表賞」を受賞した。

また、武漢紡織大学学生との交流会と、武漢紡織大学の研究室の訪問を通じて、他国間でのコミュニケーションや人脈形成に繋がり、将来的にグローバル規模で活躍する人材を育成するきっかけになった。

異国の歴史がある文化施設の見学を行い、世界文化と習慣、歴史を再認識し、学生の見聞が広がり、国際的な感覚を身につけた。

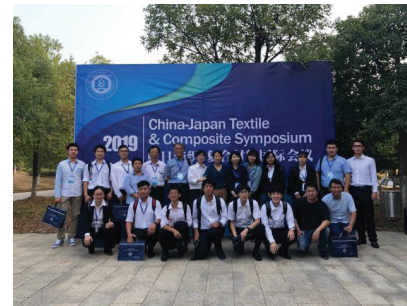
学生の声①-総合医理工学研究科 学生

今回JCTCS2019に参加し実際にポスター発表を行いました。日本の学会とは違い、英語で説明するため、英語でコミュニケーションをとることの重要性を改めて確認しました。

学生の声②-総合医理工学研究科 学生

今回の学会では、中国の研究者の研究発表や大学内の研究紹介によって繊維材料に関する海外の動向を知ることができた。また自身のポスター発表を通して研究へのアドバイスを頂けたため、非常に有意義な時間を過ごせたと考えている。一方で発表の際には自身の英語力の不足を感じたため、今後改善していくことが重要であることを実感した。

集合写真



施設見学の様子

